電源装置 取扱説明書

斉藤　拓[*]

2004 年 6 月 2 日

1　安全上のご注意

ここに示した注意事項は，あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです．注意事項は「警告」「注意」の 2 つに区分しています．いずれも安全に関する重要な内容ですので，必ず守ってください．

警告　取り扱いを誤った場合，**使用者が死亡または重傷を負うことが予想される危害の程度**.

注意　取り扱いを誤った場合，**使用者が傷害を負うことが想定されるか，または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度**.

警告

- **交流 100 V 以外の電源は使用しない．**（火災・感電の原因）
- **電源コードや電源プラグが傷んだり，コンセントの差込がゆるいときは使用しない．**（感電・ショート・発火の原因）
- **電源コードを傷つけたり，無理に曲げたり，引っ張ったり，ねじったり，重いものを載せたり，はさみ込んだり，加工したりしない．**（火災・感電の原因）
- **技術的知識をもった人以外は，分解したり修理しない．**（火災・感電・けがの原因）
- **ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししない．**（感電・けがの原因）
- **水のかかるところや，湿気の多いところでは使用しない．**（感電・ショートの原因）

注意

- **電源プラグを抜くときは，コードを持たずに必ずプラグ部分を持って抜く．**（感電・ショート・発火の原因）
- **電源プラグにほこりが付着しないように定期的に掃除する．**（感電・ショート・発火の原因）

[*] e-mail: takutaku@msb.biglobe.ne.jp

2　概要

この電源装置は，トークバック装置やカフに電源を供給するためのものです．従来の電源装置に比べて電源容量を強化し最大電流が約 350 mA になりました．また，出力コネクタにノイトリックコネクタ 4 ピンタイプ（NC4FDL-1 [XLR-4-31 相当]）を使用しましたので，安全かつ確実に接続を行えます．

3　接続方法

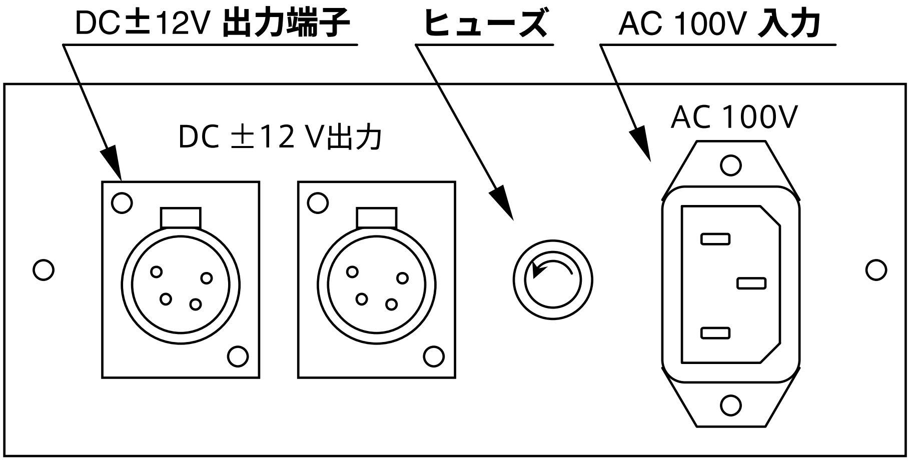


図 1: 背面パネル

- 付属の AC 電源コードを AC 100V 差込口につなぎます．
- DC ± 12V 出力コネクタと接続先の機器を専用ケーブルでつなぎます．

出力コネクタの結線は次の表のとおりにしてください．また，使用するケーブルは流れる電流に対し十分太いものを使用してください．

表 1: コネクタ結線

ピン番号	結線
1	GND
2	NC
3	−12 V
4	+12 V

ヒューズが切れた場合は，**原因を特定し対策した上で** 0.5 A（ミゼットタイプ）の新品に交換してください．

付録A　回路図

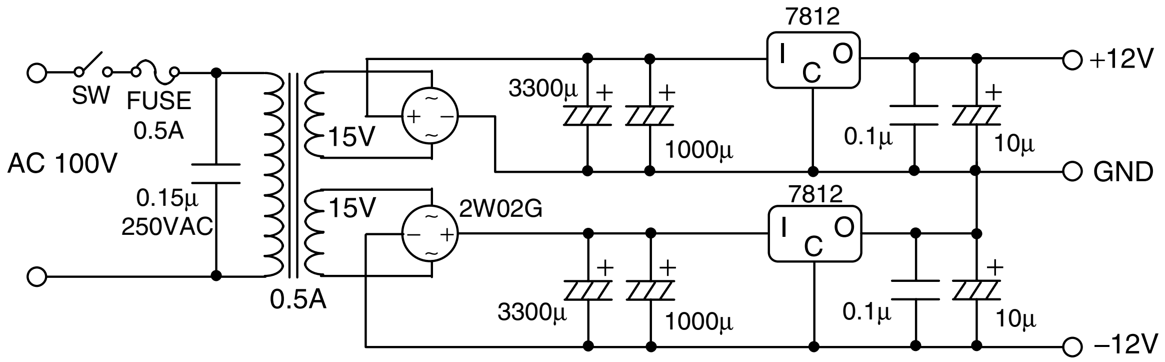


図 2: 回路図

電源装置の回路図を図 2 に示します．従来の電源装置と異なるのは，トランスに 2 巻線タイプ（東栄変成器製*1 J-1515W）を使用し，負極側の 3 端子レギュレータにも 7812 を使用した点です．最大電流を強化する目的でトランス容量が増加したため，安定化容量のコンデンサは正負それぞれ 4300 pF を使用し余裕をもたせました．最大 350 mA 程度まで安定して出力できます．

電源入力コネクタは 3 端子タイプを使用しましたが，部室にアース付き壁コンセントがないため，本機のアース端子は無接続です（シャーシにも接続していません）．アース付き電源ケーブルを使用しても意味がありませんのでご注意ください．

*1 〒101-0021　東京都千代田区外神田 1-14-2 秋葉原ラジオセンター 1 階 Tel 03-3255-6589